

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 岐阜県パラスポーツ大会春大会開催事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 地域スポーツ課 地域・パラスポーツ振興係 電話番号：058-272-1111(内2623)

E-mail：c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,890 千円 (前年度予算額： 2,890 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,890	1,445	0	0	0	0	0	0	1,445
要求額	2,890	1,445	0	0	0	0	0	0	1,445
決定額	2,890	1,445	0	0	0	0	0	0	1,445

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

障がい者の社会参加の推進とパラスポーツ振興を目指し、身体障がい、知的障がい、精神障がいの3障がいを対象とした岐阜県パラスポーツ大会春大会を開催する。

(2) 事業内容

①岐阜県パラスポーツ大会春大会の開催

<春大会 (全国障害者スポーツ大会の個人競技予選会) >

(身体・知的・精神)卓球、(身体・知的)陸上、(身体・知的)水泳、(身体・知的)フライングディスク、(身体)アーチェリー、(知的)ボウリング、(身体)ボッチャ

<春大会 (北信越・東海ブロック大会の団体競技予選会) >

(身体・知的・精神)バレーボール、(身体)車椅子バスケットボール、(身体)グランドソフトボール、(知的)バスケットボール、(知的)ソフトボール、(知的)フットソフトボール、(知的)サッカー

※北信越・東海ブロック大会は、全国障害者スポーツ大会の予選会

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫 1/2 県費1/2

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	2,890	岐阜県パラスポーツ大会（春大会）2,024千円 人件費（春大会）866千円
合計	2,890	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画において、県内におけるパラスポーツ大会の充実に関して記載。

第3期岐阜県障がい者総合支援プランにおいて、障がい者の社会参加を目指すため、岐阜県パラスポーツ大会の開催に関して記載。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 「全国障害者スポーツ大会」の予選を兼ねた「岐阜県パラスポーツ大会春大会」を実施する。
 パラスポーツの裾野拡大や認知度の向上を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①春大会参加者数	0	1216	1421	1700	2000	

○指標を設定することができない場合の理由

--

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	春大会（個人競技・団体競技） 新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止
	指標① 目標： 実績： 達成率：
令和 3 年度	春大会（個人競技・団体競技） 新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止
	指標① 目標： 実績： 達成率：
令和 4 年度	「全国障害者スポーツ大会」の予選を兼ねて「岐阜県パラスポーツ大会春大会」を実施し、選手、役員等、計1216名が参加した。 県内における障がい者の社会参加とパラスポーツの振興を行った。
	指標① 目標：1700 実績：1216 達成率：72 %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業は次のような役割をもっており、それぞれ継続して運営を支援する必要がある。 ・春大会:全国障害者スポーツ大会及び、北信越・東海ブロック大会への予選、競技力向上
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	他の事業(全国障害者スポーツ大会)を含めたパラスポーツの取り組みとしては、期待どおりの成果があると評価できる
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	例年実施している事業になるが、更なる効率化を図る。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 東京2020パラリンピックで高まったパラスポーツへの関心を一過性のものとせず、スポーツを行う者だけでなく、誰もが参加できるイベントを実施する必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
障がい者の社会参加の推進及びスポーツ振興のために、継続的に実施する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	